

9月9日は救急の日

毎年9月9日を「救急の日」とし、救急医療および救急業務の理解と認識を深めることを目的に、この日を含む1週間を「救急医療週間」としています。

救急車の適正利用について～救急車 必要なのは どんな時～

尊い命を救うために、救急車の適正利用をお願いします。救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症です。本来、救急車を利用する必要がなかった人もいる可能性があります。判断に迷ったときは救急相談窓口にご相談できます。

救急医療情報センター ☎36-1333	小児救急電話相談 #8000、☎052-962-9900	総務省消防庁全国版 救急受診アプリ「Q助」
症状に見合った最寄りの適切な医療機関を24時間紹介します。	19時から翌日8時までの間、小児科医や看護師が子の症状に応じた適切な対処の仕方や受診できる病院などをアドバイスします。	緊急度判定を支援し、医療機関や受診手段の情報を提供するアプリです。

問 衣浦東部広域連合消防課 (☎63-0135)

NEWS

暮らし

警察の相談ダイヤル

「#9110」

犯罪などによる被害の未然防止のための相談や、住民の安全と平穏に関する緊急性のない相談電話は、警察相談専用電話「#9110」へお願いします。

受付時間 平日 9時～17時

(年末年始除く)

※ダイヤル回線の電話や一部のIP電話からは☎052・953・9110へ。

※事件や事故など緊急の場合は110番へ。

問 刈谷警察署 (☎22・0110)

9月10日～16日は

自殺予防週間

市では毎年、平均23・2人が自殺により亡くなっており、年代別では30・40歳代の働き盛り世代が全体の3分の1以上を占めています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響による失業や労働環境の変化、収入の減少などで、自殺者の増加が懸念されます。自殺は、その多くが追い込まれた末の死です。悩みがあるときは、1人で抱え込まず、周りの人に助けを求めましょう。

また「様子がおかしい」と気になる人がいたら、迷わず声を掛けてください。相手の

気持ちに寄り添いながら話を聞き、必要な支援につなげ、見守りましょう。

相談窓口 保健センター(☎23・8877)、衣浦東部保健所(☎21・9337)

問 保健センター

農地を守り活かす

農地パトロール

市農業委員会では、農地パトロールを実施して遊休農地の把握や無断転用の防止を図り、農地を守り生かす活動を行っています。毎年5月に事前調査を行うほか、9月～12月までを強化月間に設定し、特に指導の徹底を図りますので、パトロールに伴う現地立ち入りにご理解・ご協力をお願いします。

問 農業委員会 (☎62・1015)

15)

ウィングアリーナ刈谷 温水プール臨時休業

9月10日(木)・11日(金)

※アリーナ、卓球場、トレーニングルームなどは利用可
問 ウィングアリーナ刈谷 (☎63・6886)



今月の有害鳥獣駆除

9月6日(日)・20日(日)の出から10時30分まで

市街地を除く市内農作物食害防止のため、銃による有害鳥獣駆除を実施します。事故防止にご協力ください。

問 農政課(☎62・1015)

狩野公園グラウンド 利用停止

令和3年1月4日(月)～2月19日(金)

内 狩野公園の休憩施設更新工事のため、施設が一時利用できなくなります。

問 公園緑地課(☎62・1023)

屋外広告物にはルールがあります

屋外広告物の設置には、街の美観や風致・自然環境を守るため、愛知県屋外広告物条例による大きさ、高さなどの基準があります。また、原則許可申請が必要です。また、市窓口へ相談してください。

設置後も、屋外広告物の許可の更新や定期的な安全点検を行い、適切な維持管理に努めてください。
問 まちづくり推進課 (☎62・1022)

編集者雑感

今年も各地で自然災害による大きな被害が発生し、さらに新型コロナウイルスの感染拡大もあり、避難の在り方が課題となっています。今号の特集では、「在宅避難のススメ」として、避難所ではなく在宅での避難について紹介しています。備えあれば憂いなし。私も自宅にある備蓄品などを今一度、確認しようと思います。

また、市メール配信サービスが9月から新しくなりました。ぜひ登録し、災害に備えましょう。 ㊦

今号の表紙

今号の表紙は、市内在住の磯村さん、川添さんご家族。令和2年10月1日時点で行われる国勢調査は、刈谷市に住む老若男女全ての人を対象です。新型コロナウイルス感染症がまん延している中での難しい調査となりますが、対策をしっかりと講じた上で実施します。詳しい内容はP2～5で紹介していますので、ぜひご覧ください。